

重要取組シート

取組項目	高齢者の介護予防や健康増進に資する施策の推進
現状・課題	「人生 100 年時代」を見据え、高齢になっても可能な限り健康で自立した生活が送れる社会を実現するためには、市民が自らの健康に関心を持ち、主体的に生活習慣を改善したり、健康状態を把握したりすることが重要である。 - 本市では、住み慣れた地域で自分らしく充実した生活を送り、社会で活躍し続けることができる都市の実現に向け、令和 3 年 3 月策定の「堺市基本計画 2025」及び令和 6 年 3 月策定の「堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」において、KGI（重要目標達成指標）に「健康寿命」を設定し、その延伸を図ることとしている。
取組の内容	- 大阪府の健康アプリ「アスマイル」に市町村オプションを付加して、本市独自のポイントを付与することで、市民の継続的な健康活動や生活習慣の改善を促すほか、健康に関する情報を効果的に発信する。また、庁内関係部局と連携してアスマイルの利用を促進する等、高齢者にスマートフォンアプリを活用する機会を広く提供することで、デジタル・デバイドの解消にもつなげる。さらに、庁内関係部局や大学等研究機関と連携し、施策構築の基礎データとしての活用を見据えて、大阪府から提供を受けるアスマイルの蓄積データの効果的な分析・効果検証の手法を検討する。 - あるく（身体活動）・しゃべる（社会参加）・たべる（食生活・口腔機能）のフレイル予防要素に基づく介護予防事業として、介護予防「あ・し・た」プロジェクトを、引き続き成果連動型民間委託契約方式（PFS）で実施する。また、より多くの高齢者が介護予防に取り組めるよう、これまでの「あ・し・た」プロジェクトで構築した施策モデルを地域で展開するためのパイロット事業を実施する。 - 高齢者が必要な医療やサービスを受けながら、地域で自立した生活を送ることができるよう、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業として、健康状態のリスクが高い方への医療職による相談・指導等の個別支援や健康チェックの機会の提供、地域の通いの場での医療職による健康教育・相談を実施する。 - 施策推進に際しては、個別事業の内容に応じて、民間事業者も含めた関係機関や庁内関係部局との緊密な連携のもと、幅広い施策効果の創出に努める。

スケジュール	前期 (～9月)	【アスマイル】 ☐ データ分析に関し運営事業者と協議、大学等研究機関等との連携合意、庁内関係部局との分析目的の整理（～6月） ☐ お知らせ配信・アンケート実施（4月～9月） ☐ ウォーキングキャンペーン実施（5月～6月） ☐ 大学等研究機関と連携して、蓄積データによる分析手法の検討（～9月） 【「あ・し・た」プロジェクト】 ☐ 堺まちなかウォーキング実施（～5月） ☐ 「学びの場」各種プログラム実施（～5月） ☐ 地域展開パイロット業務の事業者選定・契約（～5月） 【その他】 ☐ 保健介護一体的実施事業の実施（～9月）		
	後期 (～3月)	【アスマイル】 ☐ お知らせ配信・アンケート実施（10月～3月） ☐ ウォーキングキャンペーン実施（10月～11月、1月～2月） ☐ 進捗状況や課題等をふまえた次年度の予算要求（～11月） ☐ 蓄積データの分析の実施（10月～） 【「あ・し・た」プロジェクト】 ☐ 「学びの場」各種プログラム実施（10月～11月） ☐ 事業成果の確認（～3月） 【その他】 ☐ 保健介護一体的実施事業の実施（10月～3月）		
	次年度以降	☐ これまでの事業の成果を検証し、新たな施策展開の方向性を検討 ☐ 「あ・し・た」プロジェクトの第3期事業を実施		
進捗の状況	前期 (～9月)			
	後期 (～3月)			
2025 堺市基本計画	該当する 施策	2-(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現		
	寄与する KPI	前期高齢者の要支援認定率 [現状値：2.93%（2020年度）・2.68%（2023年度）]		目標値（2025年度） 2.30%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 3	すべての人に健康と福祉を	
	寄与する KPI	健康寿命 [現状値：男性 72.82 年 女性 74.46 年（2019 年）]		目標値（2025 年度） 男性 73.40 年 女性 76.40 年